

令和3年8月26日

大阪府教育長

橋本 正司 様

大阪府立高校の再編整備について

質問書 / 提言書

大阪府議会議員

土井 達也

質問書

1. 岬高校「4年連続」定員割れ、泉鳥取高校「3年連続」定員割れである。仮に、泉鳥取高校を募集停止、岬高校を存続するということがあった場合、なぜ泉鳥取高校を募集停止（閉校）とするのか理由を問う。

2. 4年連続定員割れ1校、3年連続定員割れ12校である。定員割れは、大阪府の中央部に多く集中し、北部3校、中央部7校、南部3校である。募集停止（閉校）するならば、その状況を踏まえて判断すべきである。見解を問う。

3. 募集停止（閉校）の検討にあたっては、私立高校の立地を加味すべきである。泉鳥取高校は、阪南市内で唯一の高校である。南の地域で私立高校は非常に少なく（近くて熊取町の大体大附高校）、仮に泉鳥取高校を募集停止（閉校）とした場合、公立高校も私立高校も一切ない大阪府内では唯一の市を大阪府教育委員会は誕生させることになる。そして、そもそも子どもたちの「数少ない選択肢」も削減することになる。従って、私立高校の立地も考慮し募集停止（閉校）を行うべきである。また、先人たちが築いてきた少なくとも各市に公私問わず高校1校設置を堅持すべきである。これらについて、見解を問う。

4. 田尻町、泉南市、阪南市、岬町の中学3年生の地元3高校（りんくう翔南高校、泉鳥取高校、岬高校）の進学数をみると、安定して各校それぞれ毎年80名（合計240名前後）ほどが進学してきた。直近は、定員割れが続いたため廃校の噂が流れ、進学者が激減しているが。府議会議員の選挙区内で見れば、地元進学者が一定数あると考える。他の対象校と比較して、どうなのか問う。

提言書

私土井達也は、田尻町、泉南市、阪南市、岬町を選挙区とする府議会議員です。私の選挙区内は、関西国際空港の2／3を有し、大阪府内の最南端地点と最西端地点を有します。辛坊治郎さんが帰港した淡輪ヨットハーバーも選挙区内です。一部は瀬戸内海国立公園に接し、非常に風光明媚な地域です。そして、和歌山県との府県界も有し、交流は活発です。

この度、少子化に伴う大阪府立高校の再編整備について、とうとう私の選挙区内の大阪の端っこまで及ぶ可能性が出てきました。時代の流れであり、要請であることは分かっています。

しかしながら、今までの私の経験上、端っこはいつも、判断する方々にしっかりと考えて頂けず、結果、多くの矛盾を抱えているのが大阪府の端っこです。

従って、私自身が抱える矛盾を素直に率直に『質問書』で表現してみました。地元の有権者や地元市町職員等のみなさまにもお話も伺ってきたので、この『質問書』の内容は、多くのみなさんの疑問であると考えて下さい。文書によるご回答を賜りたいと存じます。

その上で、岬高校、泉鳥取高校のいずれかが募集停止（閉校）の対象となる場合に、下記事項を実行するよう提言し、要請いたします。

記

1. 大阪府内の端っこの子どもたちは、そもそも選択肢が限られています。その上に、今回、その大阪府の端っこの子ども達に対し、大阪府教育委員会は一層の選択肢の削減に踏み切る可能性があります。しかしながら、接する和歌山県の紀北に目を向ければ、県庁所在地の和歌山市が隣まちであり、公私ともに膨大な教育資源があります。つきましては、岬町と阪南市の子どもたちが、和歌山県の公立高校を受験し進学が出来るように府県間協議を開始し、和歌山県立高校へ進

学出来るよう選択肢を増やして下さい。

2. 加えて、和歌山県内の私立高校を受験、進学する場合、高校無償化の恩恵を大阪府内と同じレベルで享受できるような教育バウチャーを岬町と阪南市の子どもたちに創設して下さい。JR 沿線では、わずか 2 駅先の和歌山市内に私立開智中学・高等学校があります。

3. 今回、仮に泉鳥取高校が募集停止（閉校）となれば、大阪府内で公立高校も私立高校も無い唯一の市を誕生させます。大阪府の端っこは、高校が無くなるだけでも地域社会に大変な影響を及ぼします。従って、募集停止（閉校）する場合には、第一優先で高校から次へと、間を空けることなく、跡地活用・利用を行って下さい。

以上